

SGFA (サウンド::ジェンダー::フェミニズム::アクティビズム) 東京 発表者募集

日時：2019年10月4日(金)・5日(土)

場所：東京藝術大学大学美術館 陳列館

主催：ロンドン芸術大学クリエイティブ・リサーチ・イン・サウンド・アーツ・プラクティス
(CRiSAP)、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科

応募締切：2019年6月17日(月)

SGFA 東京は、さまざまな創造的かつ理論的形態にあらわれる音とジェンダー、アクティビズムに着目した、学術的、芸術的な研究を探求するリサーチ・イベントです。国内外の研究者、実践者のネットワークを確立し、研究を共有することを目指しています。今回、SGFA 東京の開催に際し、発表者の公募をおこないます。すべての関連領域からのあらゆる形式による発表を歓迎します。学術的な発表はもちろん、もっと実験的なもの、たとえば音の作品や映像作品、パフォーマンスなども歓迎です。

本イベントは、公募によって選考された発表者を中心に構成されます。

SGFA (サウンド::ジェンダー::フェミニズム::アクティビズム) は、ロンドン芸術大学の研究所 CRiSAP (クリエイティブ・リサーチ・イン・サウンド・アーツ・プラクティス) の研究者とアーティストによって始められました。CRiSAP の目指すところは、サウンド・アーツという新しい学術領域を発展、拡張させ、サウンドアートが実践されている言説的文脈の拡大と深化を促進することにあります。SGFA は、音と実験音楽の分野における歴史的なそして同時代的なフェミニスト言説に関する現在進行中の研究の一部で、2012年より多種多様のコラボレーターたちとおこなってきました。この研究の目的は、ジェンダー、フェミニスト、そしてクィア政治に関係するサウンドアート、音をベースにした芸術、実験的な音楽の言説や実践の中におけるアクティビズムの場所とパフォーマンスを拡大し、疑問を投げかける、またこれらの領域で活動する研究者や実践者のネットワークの拡張に貢献することにあります。SGFA はこれまで2012年、2014年、2016年にロンドンで開催され、世界各国から発表者と参加者が集まりました。

SGFA 東京は、サウンド・アーティストの北條知子を中心に、ロンドン芸術大学 CRiSAP、東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科による共同主催によって開催され、これまでの国際的なネットワークをさらに拡張することを目指しています。

応募および発表は英語または日本語でおこなわれます。応募希望者は以下3点を2019年6月17日(月)までに、sgfa-tokyo@crisap.orgまでお送りください。

- 1 発表のテーマ、トピック、形態を含めたプロポーザル (300字以内)
- 2 発表者の経歴 (200字以内)
- 3 発表予定の言語 (日/英)

関連リンク：

[CRiSAP](#) | [Graduate School of Global Arts \(GA\), Tokyo University of the Arts](#) | [Tomoko Hojo](#) | [SGFA2012](#) | [SGFA2014](#)
| [SGFA2016](#) | [SGFA Zine](#) | [Feminisms and the Sonic](#) | [Her Noise Archive](#)